

イタリア/ドイツ 歩行者優先中心市街地 訪問記録 - 4

番外編 / ナポリ NAPOLI

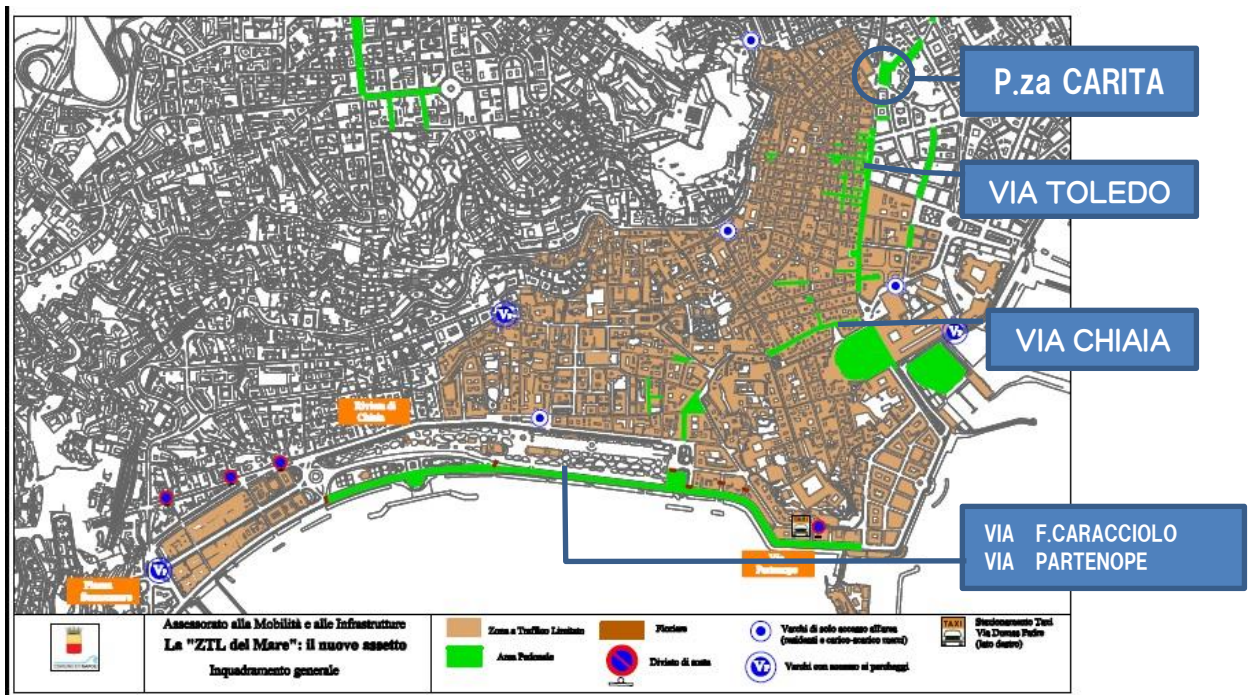
さすがナポリ！と言うべきか、やっぱりナポリは、、と言うべきか、ヨーロッパの歩行者専用ゾーンもナポリに来るとこうなる、という報告です。

ナポリの歩行者専用ゾーンは、自動車の通行が終日禁止の地区と、時間制の地区とで**立派に！**構成されています(Map 1、2)。今回は区別せずに合わせてひとつの歩行者専用ゾーンとして紹介します。

当然自動車の進入は「許可車・指定車」以外は禁止。でも、、あらゆる種類の**許可車・指定車**があるらしくて、どこでも勝手に色々な車が入って来る！！

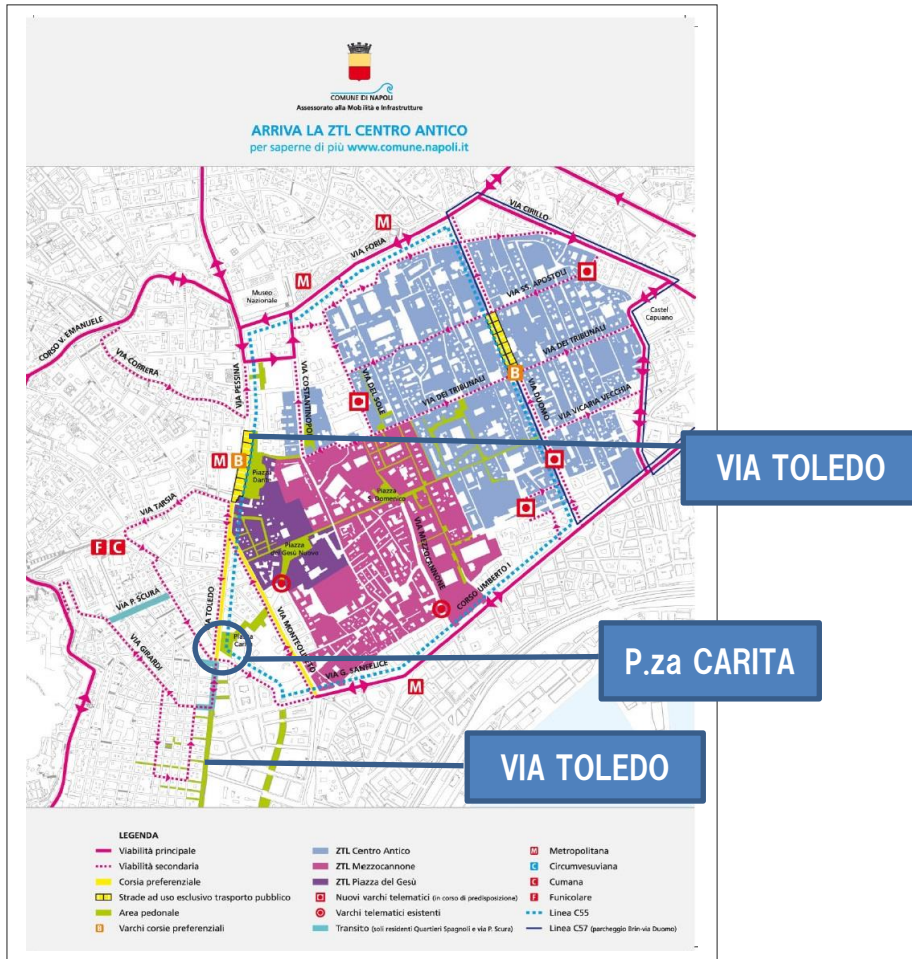
道路の「占有」は街の賑わいに欠かせませんが、ここではとてもルールがあるとは思えません。勝手に街に「**はみ出し**」ています。商品、椅子やテーブル、お菓子の陳列棚、グラニータ(カキ氷)、難民の出店、屋台、モーターバイク、ゴミ箱、、、、そしてみんな楽しそう。

夕方の制限時間を過ぎると、人と自動車が混在するスーパーカオスのナポリが復活しますから、ナポリでもやっぱり歩行専用ゾーンは存在価値があるのでしょう。日本でもあまりシビアに考えずに、ナポリ並みの適度な歩行者専用をやってみたらどうでしょうか？ でも、これって日本が一番苦手なやり方かもしれませんね。



Map 1. 海岸地区の歩行者空間・交通規制図

緑が終日歩行者専用ゾーン。ページュは ZTL(交通規制地区。時間制歩行者専用を含む様々な交通規制が組み合わされている。原則速度制限 30km/h)



Map 2. 歴史的な中心市街地の歩行者空間・交通規制図
 緑が終日歩行者専用ゾーン。黄色は時間制限歩行者専用ゾーン。
 濃い紫、薄い紫、空色は地区別の ZTL(交通規制地区)



海岸地区と歴史的な中心市街地を結ぶトレド通り VIA TOLEDO は<終日>歩行者専用地区と<時間制>の混合。街一番のメインストリートだ。



海岸地区の歩行者専用ゾーン。アスファルトの広い車道があるが、車は通らない。タクシーの進入も厳しく抑制している。そのおかげでナポリ湾の風景がゆっくりと見渡せる。人通りはまばらでのどか。これは風景を守るための車の進入禁止であることが分る。

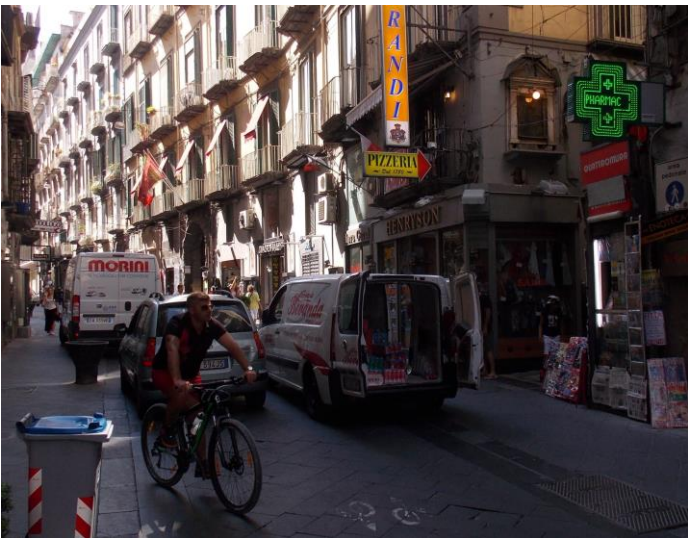
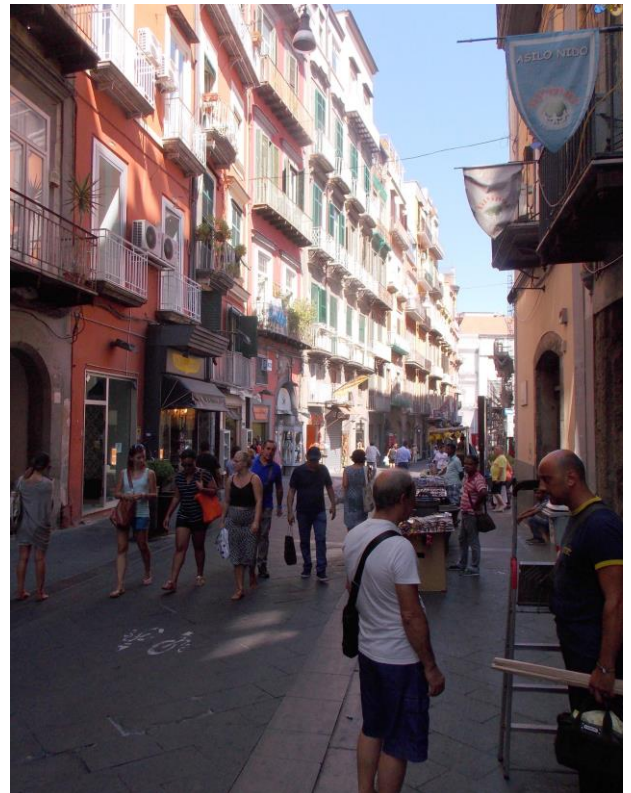


【VIA TOLEDO 北側地区】

9:00～18:00 は歩行者専用になる。歩道と車道の段差は5～6cm。

勝手に置いたとしか思えない椅子とテーブル。平然と通り過ぎる車。日傘のあるカフェは道路の占用許可を取っているはずだが、専用の範囲はどう見ても曖昧。交通規制の下を堂々と行き交う車たち。居住者、商用の自家用車は勝手に動けるらしい。グラニータ(カキ氷)に群がる人達。道にはみ出したテーブル。置き去りのモーターバイク。難民の出店。配送車らしい車。皆がとても気楽で楽しそう。





トレド通りから脇に入る【キアア通り VIA KIAIA】
 <終日>歩行者専用地区。2階から上はアパート。
 歩行者専用地区の標識は付いているのだが、よほど注意しないと見逃してしまう。ナポリの交通規制の実態そのままですね、これは。
 荷捌きの車が2台。そこへ得体の知れない乗用車が来て立ち往生。何でこの時間に荷捌き車が入ってこれるのか？これは運転手付きのレンタカーではないか？運転手付きのレンタカーはタクシーと見做されるから入ってこれる(あくまでも私の想像です)。こんな猥雑な通りが結婚記念写真の場に相応しいのか？(全く余計な感想でした)。繁華街は、さらに細い路地につながっていく。ここではあらゆるものが道に「はみ出し」ている。



【トレド通り VIA TOLEDO】 歴史的な中心市街地<時間制>歩行者専用地区。
 夕方6時を過ぎると一気に車が入ってきて、街は何が何だか分からなくなってしまう。
やっぱり歩行者専用空間は街を蘇らせる特效薬だ！



ナポリの晴れ舞台は、やっぱりナポリ湾の海岸通り【VIA F.CARACCIOLO と VIA PARTENOPE】結婚の記念写真がよく似合う。車を入れない訳も納得。

ナポリ人は何と、「**配送特急便**」なるものを持っている！ 歩行者専用ゾーンへも時間に関係なく、どんどん入ってくる。

ヨーロッパの歩行者専用の街の象徴的存在が「**ポリス**」。日本のように怖い監視役ではなく、「私が見てるから大丈夫よ」という感じ。

